



# SDGs実施とジェンダー平等 に向けた日本政府の取組

2016年10月19日

外務省国際協力局審議官・NGO担当大使

森 美樹夫

# 本日お話しすること

- ① **持続可能な開発のための2030アジェンダ**
  - ・持続可能な開発目標(SDGs)とは
  - ・SDGsにおけるジェンダー平等
  - ・SDGs実施に向けた日本の取組
  
- ② **ジェンダー平等に向けた日本の取組**
  - ・日本の支援実績
  - ・女性の活躍推進のための開発戦略
  - ・G7伊勢志摩サミットの成果
  - ・国際女性会議(WAW！)
  
- ③ **ケニアにおける女性のエンパワーメント支援**

# ① 持続可能な開発のための 2030アジェンダ

# 持続可能な開発のための2030アジェンダ

## 1 持続可能な開発目標(SDGs)とは

### 前身:ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)

- 2001年に国連で策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したもの。
- **発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。**  
(①貧困・飢餓、②初等教育、③女性、④乳幼児、⑤妊産婦、⑥疾病、⑦環境、⑧連帯)

- ✓ MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。
  - 極度の貧困半減(目標①)やHIV・マラリア対策(同⑥)等を達成。
  - × 乳幼児や妊産婦の死亡率削減(同④、⑤)は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ。
- ✓ また、15年間で国際的な環境も大きく変化し、新たな課題が浮上。
  - ・ 環境問題や気候変動の深刻化、国内や国際間の格差拡大、民間企業やNGOの役割の拡大など。

### 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)

- 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。
- **先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年を期限とする包括的な17の目標を設定。**(詳細:次頁。17の目標の下に、更に細分化された169のターゲットあり。)
- 「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し(=人間の安全保障の理念を反映)、**経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組む。**
- **全ての関係者(先進国、途上国、民間企業、NGO、有識者等)の役割を重視。**

# 持続可能な開発のための2030アジェンダ

## 2 持続可能な開発目標(SDGs)の詳細



ロゴ: 国連広報センター作成

日本自身の課題に関係が深い目標の例 ⇒実施には、多くの国内省庁が関係。

- 成長・雇用
- クリーンエネルギー
- イノベーション
- 循環型社会(3R:Reduce Reuse Recycle 等)
- 温暖化対策
- 生物多様性の保全
- 女性の活躍
- 児童虐待の撲滅
- 国際協力 等

# 2001～2015年

MDGs

ミレニアム開発目標

Millennium Development Goals

8ゴール・21ターゲット

途上国の目標

**MDG3** ジェンダー平等推進

と女性の地位向上

(教育における男女格差の解消、女性賃金労働者、国会における女性議員の割合)

# 2016～2030年

SDGs

持続可能な開発目標

Sustainable Development Goals

17ゴール・169ターゲット

全ての国の目標

**SDG5** ジェンダー平等を達成

し、すべての女性及び女兒の能力強化を行う

(差別・暴力の撤廃、有害な慣行の撤廃、無報酬の育児・介護や家事労働の認識・評価、女性のリーダーシップ、性と生殖に関する健康 等)

## SDG Goal 5

### ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

- 5.1 あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の**差別を撤廃**する。
- 5.2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性及び女児に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の**暴力を排除**する。
- 5.3 未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる**有害な慣行を撤廃**する。
- 5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、**無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価**する。
- 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な**女性の参画及び平等なリーダーシップ**の機会を確保する。
- 5.6 国際人口・開発会議(ICPD)の行動計画及び北京行動綱領、ならびにこれらの検証会議の成果文書に従い、**性と生殖に関する健康及び権利**への普遍的アクセスを確保する。
  - 5.a 女性に対し、**経済的資源に対する同等の権利**、ならびに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。
  - 5.b 女性の能力強化促進のため、**ICTをはじめとする実現技術の活用**を強化する。
  - 5.c ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性及び女子のあらゆるレベルでの能力強化のための**適正な政策及び拘束力のある法規**を導入・強化する。

## 3 我が国の取組

### (1) SDGsの議論や交渉への積極的貢献

- 国際社会の議論が本格化する前から、対話の機会等を通じて積極的に貢献。
  - ✓ 政策対話の主催(2011年～2013年)、国連総会でのサイドイベント開催(2013年には安倍総理と岸田大臣出席)等。
- SDGsの交渉過程でも、人間の安全保障の理念の下で積極的に貢献。  
我が国の重視する開発課題を盛り込んだ。(質の高いインフラ、保健、女性、教育、防災等)

### (2) 今後の実施に向けて: SDGs推進本部の設置

- SDGsが採択された2015年の国連サミットにおいて、安倍総理から、SDGsの実施に最大限取り組む旨を表明。
- 今後、国内実施と国際協力の両面で率先して取り組むには、関係省庁が連携し、政府一体で取り組む体制が不可欠。
- G7伊勢志摩サミットでもSDGsを議論。議長国としてSDGsに率先して取り組む姿勢を表明。



SDGsを採択した国連サミットで演説する安倍総理(2015年9月)

- ✓ 5月20日に、総理を本部長、全閣僚を構成員とするSDGs推進本部を設置。
- ✓ 同日の第1回会合において「SDGs実施指針」を策定していくことを決定し、策定中。
- ✓ 9月12日、SDGs推進円卓会議を開催。幅広いステークホルダーと意見交換。



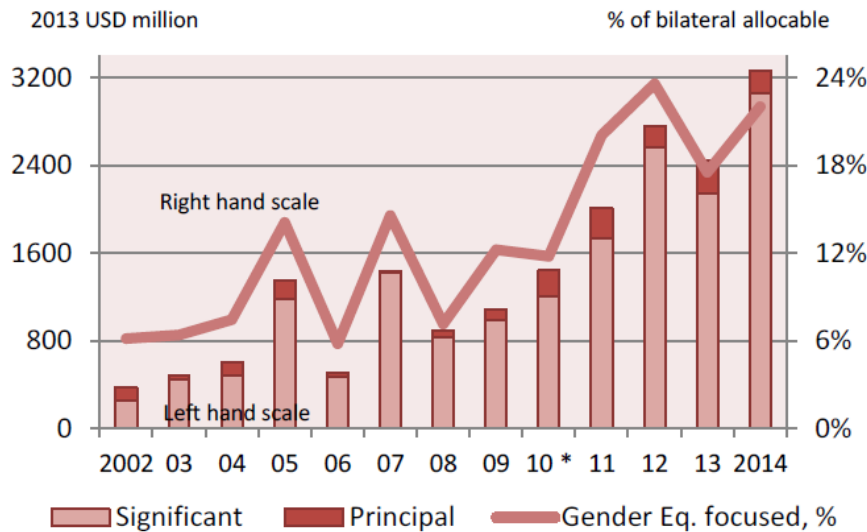
## ② ジェンダー平等に向けた 日本の取組

# ジェンダー分野における日本の支援実績

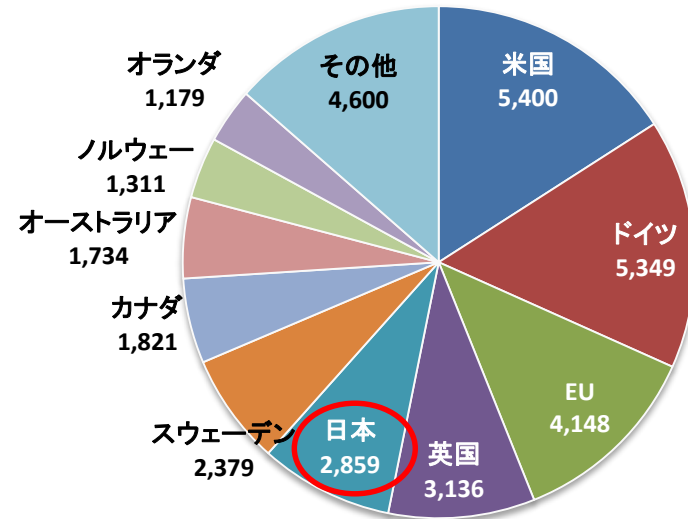
(出典 DAC-CRS統計(約束額ベース))

- ODA実績は、過去5年間で約**130億**ドル(2010年から2014年)
- DAC諸国内ODA実績平均額(2013年-2014年)は第**5**位。

我が国の女性支援関連ODA実績  
(単位:百万ドル)



DAC諸国の女性支援関連ODA実績  
(2013-2014年実績平均 (単位:百万ドル))



- 上記ODA以外にも、UNDP、UNICEF、UNFPA、UN Womenなど国際的に発信力のある国連機関に対する拠出金を通じ、支援を実施している。

# 女性の活躍推進のための開発戦略(2016年5月策定)

## 持続可能な開発目標(SDGs)

(2015年9月採択)

ゴール5: ジェンダー平等と女性の能力強化

## 開発協力大綱

(2015年2月決定)

女性の参画の促進を重点課題として、  
女性の能力強化、女性の権利の尊重を明記

### 基本原則

1. 女性と女児の権利の尊重・脆弱な状況の改善

2. 女性の能力発揮のための基盤の整備

3. 政治、経済、公共分野への女性の参画とリーダーシップ向上

### 支援のアプローチ

- ✓ 途上国の人々の視点に根ざした支援
- ✓ 事業の実施におけるより一層のジェンダーの主流化
- ✓ パートナーシップ

# 重点分野と具体的取組

## 1. 女性と女児の権利の尊重・脆弱な状況の改善

- 女性及び女児に対する差別、暴力の根絶
- 女性にやさしいインフラ整備
- 紛争下における女性に対する暴力撤廃
- 男女共同参画の視点に立った緊急支援
- 女性の生涯にわたる健康の確保

### 具体的取組事例

#### 女性にやさしいインフラ

デリー高速輸送システム建設事業  
／インド（女性専用車両）



#### 女子の学習環境改善

ナンプラ州中学校改善計画  
／モザンビーク共和国  
（女子トイレや教室の整備）



#### 母子保健

母と子の基本的保健医療支援事業  
／ドミニカ共和国



# 重点分野と具体的取組

## 2. 女性の能力発揮のための基盤の整備

- 女子教育(STEM含む)の推進・強化
- 職業訓練支援
- 科学・技術分野で活躍する女性の拡大
- 無償ケア労働の省力化
- 水・衛生環境の改善
- 男女共同参画の視点に立った農林水産業の育成
- 紛争予防、紛争解決、平和構築、防災分野における女性の人材育成

### 具体的取組事例

#### 農業女性のエンパワーメント

小規模園芸農民組織強化計画  
(SHEP、SHEP-UP)／ケニア



#### 女性警察官育成

市民と平和のための警察研修  
実施能力強化事業／コンゴ民



#### 女性工学系教員の育成

アセアン地域の工学系高等教育  
ネットワーク構築支援事業／  
ASEAN



# 重点分野と具体的取組

## 3. 政治、経済、公共分野への女性の参画とリーダーシップ向上

- 女性の経済的エンパワーメントの推進
- 女性の政治・公共分野でのリーダーシップ強化・推進、ガバナンス強化
- 紛争予防、紛争解決、平和構築、防災における意思決定過程への女性の参画推進

### 具体的取組事例

防災分野における女性のリーダーシップ向上  
男女共同参画・多様性からの災害リスク削減  
招へい事業 / アジア



女性による小規模ビジネス振興  
一村一品アプローチによる小規模ビジネス  
振興を通じたコミュニティ活性化事業/  
キルギス



女性の生計向上支援  
パレスチナ難民生計向上のための  
能力開発事業 / ヨルダン



## 市民社会からの評価

- 基本原則の一つ目として「女性と女児の権利の尊重」が掲げられており、また、重点的な取組として「女性の生涯に亘る健康の確保」が明記されており評価。女子教育の推進は、女性の自己肯定感醸成にも繋がる。(石井澄江ジョイセフ理事長)
- 本戦略は、SDGsとも整合性がとれている。STEM教育支援を重点分野の一つとしており、W20でも議論された科学技術やICTの活用にも繋がる内容。無償ケア労働にもしっかり触れている。ジェンダー指数が低い日本でも、途上国と互いに学び合うスタンスで取り組むのがよい。(ジェンダー専門家・大崎麻子氏)
- 非常によい戦略ができたことを歓迎。今後、本戦略を積極的に活用していきたい。(瀬谷ルミ子紛争予防センター理事長)
- 女性の権利の尊重、能力の発揮、リーダーシップの向上を重点分野とする本戦略の発表を歓迎。(教育協力NGOネットワーク(JNNE))
- 世界中のCARE事務所やジェンダー関係担当者に本戦略を共有した。とても反響もよく、在外公館との協議にも有効に使っていきたいという現地事務所の声もあった。(武田勝彦ケア・インターナショナル ジャパン常務理事・事務局長)

# 本戦略に基づいた日本の貢献策(2016~2018年)

G7伊勢志摩サミットにおいて、以下の貢献策を発表

- 女子の権利を尊重し、能力発揮のための基盤を整備するために、女子の学習環境の改善が不可欠との認識に基づき、女子教育の普及が遅れている地域(アフリカ, 南アジア)を中心に学校建設等により約5万人の女子の学習環境を改善。
- 女性のリーダーシップの強化が政治・経済・公共分野における発展のために不可欠との認識に基づき、母子保健、防災、平和構築(警察、人身取引対策)、起業等の分野における約5,000人の女性行政官等の人材育成を実施。





狙い

女性関連のSDGs(持続可能な開発目標)の実施を主導するとともに、全ての政策分野で女性活躍の主流化を図ることにコミット。特に、以下の3分野について具体的な成果をあげる。

## 「女性の能力開花のためのG7行動指針」に合意

### 1. 持続可能な、包括的で、かつ公平な経済成長に向けた女性及び女児の能力開花

- 教育及び職業におけるジェンダー格差と固定観念の撤廃
- 女性の労働参加、起業、リーダーシップのための就業に関する教育及び職業訓練の充実
- 女性及び女児の健康のための教育及び啓発プログラムの改善
- 学習環境の改善と女児への質の高い教育に対する障壁への対処

### 2. 国際平和及び安全保障に向けた取組に対する女性の能力開花と参画の促進

- 国連PKO要員及び国内治安機関に対する訓練の強化
- 司法及び安全保障分野における女性のリーダーシップ醸成と女性の代表性の向上
- 緊急事態対応への女性の関与を強化
- 防災における女性の代表の醸成

## 「女性の理系キャリア促進のためのイニシアティブ(WINDS)」の発表

### 【目的】

- G7各国がSTEM分野の女性キャリアにビジョンを示しつつ、活躍推進の環境整備を後押しする。
- 女性の経済的地位(含む:所得)を向上させる。
- (新たなイノベーションや商品・市場開発を通じて)成長戦略に貢献する。

### 【活動】

1. リーダーシップ: 伊勢志摩サミットにおいて、首脳から強くコミットする
2. ネットワーク: G7が互いに、つながり、学び、励まし合う
3. イベント: WAW! 2016の機会に、「G7・WINDS特別イベント」を開催する

## 女性・平和・安全保障分野における具体的進展

### あらゆる形のジェンダーに基づく暴力の撤廃

- 被害者支援を含むあらゆる取組を国内外で進める
- 不処罰の文化に対処
- 性的搾取に対する国連事務総長のゼロ・トレランス政策及び安保理決議2272号の完全な実施を要請

### 平和・安全保障の主要なアクターとしての女性の活躍推進

- 紛争の予防、解決、調停、平和維持、人道的対応、平和構築、復興における女性の積極的かつ有意義な参画の重要性を認識
- 安保理決議1325号に基づく女性・平和・安全保障に関する国家行動計画の策定・実施の支援
- 国際紛争調停者における女性のプレゼンス向上にコミット

## 国際女性会議 WAW! (World Assembly for Women)

- 「女性が輝く社会」を実現するための取組の一環。
- 世界中から女性分野で活躍するトップ・リーダーが出席し、日本及び世界における女性の活躍促進のための取組について議論。



## 昨年のWAW! 2015

昨年のテーマは「WAW! for All」。様々な立場や世代の女性・男性がともに考え、ともに変革していこうというメッセージ。41の国と地域、8国際機関から75名の女性分野で活躍するリーダー等が参加（日本人参加者は70名、全体で145名）。WAW!のために訪日した外国人は315名に上る。また2日間でのべ約2千人の聴衆が参加。

## WAW! 2016

- 12月13日(火)及び14日(水)に東京で開催予定。
- 本年のWAW!のハイレベル・ラウンドテーブルは、「サイエンス&テクノロジー」、「意思決定と女性」、「ワークライフ・バランス」、「健康・保健」、「平和安全保障」を予定。また、スペシャル・セッションとして「ユース」及び「地方振興と女性」を取り上げる予定。

## シャイン・ウィークス

「女性が輝く社会づくり」に賛同し、一緒にWAW!を盛り上げていく公式サイドイベントを募集。  
昨年は240件のサイドイベントを開催。本年も現在募集中。

# ③ ケニアにおける 女性のエンパワーメント支援



アミナ・モハメド・ケニア外務長官



アミナ・モハメド・ケニア外務長官

# 1. 女性と女兒の権利の尊重・ 脆弱な状況の改善



医療・母子保健  
スースワ診療所建設計画(2013年11月、草の根無償)



May 27, 2014 13:21  
Yuya Primary School, Trans Nzola

教育インフラ  
ユヤ小学校再建計画(2014年5月、草の根無償)





教育インフラ(ブルンジ)  
ギヒンダ小学校拡張計画(2014年10月、草の根無償)

## 2. 女性の能力発揮のための 基盤の整備



教育(STEM)  
理数科教育強化計画(SMASE)(2014年2月、JICA技術協力)



水・衛生  
クワカタナ・アースダム建設計画(女性草の根開発プログラム)  
(2015年4月、草の根無償)



水・衛生  
ンジウ・エマリ地域給水計画(2014年10月、草の根無償)

### 3. 政治、経済、公共分野への 女性の参画とリーダーシップ向上



女性の経済的エンパワーメント  
農村部女性の農業市場・交易への参画支援計画  
(2015年6月、世銀－日本社会開発基金)



女性の経済的エンパワーメント  
第8回日本語弁論大会(2015年3月、日本大使館)





April 4, 2014 12:33

平和構築における女性参画  
カクマ難民キャンプ(南スーダン難民支援)(2014年4月、WFP)

**ご静聴ありがとうございました。**

